

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第5号

令和8年9月1日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

夏休みが終わり、学校が始まりました。リフレッシュできて、新鮮な気持ちで前向きに生活が送れそうですか。休んだにもかかわらず「やる気が出ない」「ボーッとしている」「集中力がない」と感じていませんか。

そこで今回は、「前を向いて頑張ろう」という気持ちになる言葉をいくつか紹介します。誰の言葉であるかは調べてみてください。

今日の結果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。

過去は変えられませんが、未来は「今からの努力」でいくらでも切り拓くことができます。上手くいっている人はそのまま進みましょう。

今日が人生でいちばん若い日。

当たり前のことですが、あとで後悔しないように「やりたいことがあったら、今が始めどき」です。

雨の中、傘をささずに踊る人間がいてもいい。それが自由というものだ。

「雨の中、傘をささずに踊る人」をイメージしてみましょう。上機嫌のほうが人生はうまくいくものです。Mrs. GREEN APPLEも「楽しんだもの勝ちだ」と歌っています。

雑草という草はない。

すべての草には名があり、それぞれの個性があり「雑草」とひとくくりにできるものではありません。私たち人間も一人一人が唯一無二の存在です。

Go for it! (やってみよう!)

他人や過去は変えられないが、未来と自分を変えられる。

失敗に囚われず、明るい未来を想像してみましょう。

明日は明日の風が吹く。(Tomorrow is another day.)

落ち込んだ時にくよくよせず、前を向いて、成り行きに任せてみましょう！

A Iに「人生どうにかなりますか」と聞いてみました。

A Iによる概要は以下の通りです。

「人生なんとか、なります」ただ立ち尽くしているだけでは状況は変わりませんが、「最悪の事態を避けて行動する」「時間を配分し直す」「付き合う人を変える」といったちょっとしたシフトチェンジで、多くの道が開けていきます。

人生を「なんとかなる」に変えるためのポイント

・ **実は現実的な感覚**

「なんとかなる」は無責任な言葉ではなく、心理学やストレスマネジメントの観点からも、困難を乗り越えるために非常に重要な思考法とされています。

・ **抱え込みすぎない**

仕事や人間関係など、自分ではどうにもならないこともあります。心に余裕を持つために、適度に肩の力を抜くことが大切です。

どうしてもなく不安なときは、無理にすべてを解決しようとせず、まずは目の前の小さな一歩から少しずつ進めていくことをおすすめします。

(A Iの文章を単に信じるのではなく、深く読み取る練習をしましょう)

いかがですか。少しは元気が出ましたか。

つばさ総合高校では、2学期は銀翼祭、結翔祭、修学旅行、科目選択などがあり、忙しくも充実した生活が待っています。今は大学の年内入試も多く実施されます。

心身ともに健康で、明るい未来を想像して、ポジティブに頑張っていきましょう！

銀翼祭・結翔祭・学校説明会に、多くの中学生の皆さんに来校してほしいと思っています。総合学科で夢の実現に向けて、伸び伸びと学校生活を送っている生徒と是非、触れ合い、話をしてみてください。本校の良さが実感できると思います。お待ちしております。